

患者さんへ

臨床研究に関する情報

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、病理診断後、当院に保管されている検体を用いて行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」（令和 3 年 3 月 23 日）の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

[研究課題名] 侵襲性糸状菌症の病理画像解析システムの開発

[研究の目的と方法]

侵襲性糸状菌症は、診断が難しく迅速な対応が必要な感染症です。本研究では、病理組織内の真菌（菌糸）の形状を AI 等で自動認識する「病理画像解析システム」を開発し、診断の精度向上と標準化を目指しています。

[研究の対象者及び対象期間]

1975 年 4 月から 2025 年 3 月までに当院において外科手術または病理解剖を受け、病理組織学的に「侵襲性糸状菌感染症」と診断された方。

[研究に利用する試料・情報]

試料：手術や解剖で摘出された肺組織の残余検体（HE 染色標本、グロコット染色標本、未染色切片）。

情報：性別、年齢、基礎疾患、起炎菌の培養結果、標本の保管年数。

※個人を特定できる情報（氏名、住所、カルテ番号等）は削除し、匿名化した状態で研究代表機関（東邦大学）へ提供します。

[研究期間]

研究許可承認日 ～ 2028 年 3 月 31 日

[研究組織]

研究代表機関：東邦大学医療センター大森病院 教授 栃木直文

共同研究機関：がん研究会有明病院、市立札幌病院（研究責任者：辻隆裕）、近畿大学医学部、刈谷豊田総合病院

[試料・情報の管理について責任を有する者]

東邦大学医療センター大森病院 病理診断科 教授 栃木直文

[お問い合わせ先]

本研究に試料・情報を用いてほしくない場合は、下記担当者までご連絡ください。拒否された場合でも、診療上の不利益を受けることは一切ありません。

* 当院担当者：市立札幌病院 病理診断科 部長 辻 隆裕 電話：011-726-2211（代表）

* 研究事務局：東邦大学医療センター大森病院 病理診断科 栃木直文 電話：03-3762-4151（内線 3451）